



● 年頭あいさつ

皆さまにおかれましては新年を迎えられ、新たな目標をおもちのことと存じます。一同、家族会の活性化に向けて邁進して参る所存でおります。今年もよろしく
お願い申し上げます。

ぎふかれんの活性化、私の思い ぎふかれん理事長 山田偉雄（中濃わかば会）

遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。会員の皆様には新年をお健やかに迎えられたことと存じます。私は1月2日が誕生日、家族からは、おめでとうと言われて、もう74歳かと驚き老いを実感します。一茶の「めでたさも、中くらいなり、おらが春」の心境です。

ところで、昨年度は、「県大会 in 岐阜」が、岐阜圏域の家族会が中心になって盛会に実施されました。また、年末と新年の2回、「精神障がい者家族間の支援者の養成研修」として昨年度に続き今年度研修会を実施しました。電話相談の対応者のスキルアップを目的に実施しておりますが、電話相談事業をとおして、各家族会への会員増にとの思いがあります。

現在、家族会役員の高齢化、後継者問題が全国的に深刻になってきています。それでも極めて元気に活動している県連が個々あります。障がい者医療費問題等を全面的に、会員、各家族会一致団結し獲得に努力している県連です。岐阜県では、幸いに、精神障がい者2級までは県レベルの医療費無料制度が確立しています。当時のぎふかれんの役員さんに、また、県知事さんに感謝申し上げたいと思っています。しかし、その後、家族会、ぎふかれんは一致団結すべき事案を共有できず、停滞ぎみです。各家族会が元気になり、ぎふかれんも元気になって欲しい。ぎふかれんはどんな行動・イベントを実施すべきか、実施出来るのか、皆さんからの提案をいただきたいと思っています。

現在、会員、未入会者を含め、ぎふかれんを知って頂くためための情報発信が必要です。1月18日の第3回理事会で、検討しました①インターネットによる情報発信、ホームページを立ち上げ、ぎふかれんの行事、各家族会のイベント、定例会情報、更には福祉関連の講演会、行政の動向などを掲載したい。②電話相談事業の強化で会員確保。③交通運賃の（岐阜県独自では第3セクターの鉄道）3障がい者同一運賃の実現。の3点です。

どんなぎふかれんを望むかアンケートもとりたいと考えています。

全員参加で、ぎふかれんの活性化を宜しくお願い致します。以上が新年の決意です



この機関紙は、岐阜県共同募金会のご寄付で作成致しました



とき

平成28年11月8日(火)

参加者 300名

ところ

ぎふ清流文化プラザ

シンポジウム ～テーマ～「精神障がい者が地域で自分らしく暮らすには」



コーディネーター

内木克治氏(平林クリニック
精神保健福祉士)

シンポジスト デイケア、クラブハウス、自宅を
それぞれ居場所としておられる4名の方

- * **52歳の男性**： 発病は高校時代と思う。大学卒業後、統合失調症をかかえながら、デイケアに通う。最近、事業所にも通い始め、健康と体力、栄養に気を配って、父母亡き後の孤独な生活の立て直しをしているところです。「今を生きる」こと、くよくよしないことをモットーにしています。岐阜の「レインボー LGBT の会」に参加し、自分のかかえる性的少数者の悩みも解決が見えてきました。
- * **27歳の男性**： 高校で統合失調症を発病し5年間引きこもっていたが、その後事業所では楽しく働きました。
発病して10年の間に2冊の本を出版した。母を笑わせたいと思い引きこもりの様子を書いたら、面白いと言ってくれました。イベントで本のサイン会もやりました。最近自動車の免許も取れました。デイケアでとても体調が良くなったが、止めて今は、姉の所でゆったりと明るい気分で働いています。発病時は苦しかったが今は自分の病気は治ると信じて過ごしています。
- * **50歳の男性**： 大学在学中に統合失調症を発病して、家の仕事を手伝ったりしていたが、市役所で「クラブハウス ゆうせん」のパンフレットを渡されてそこに通い始めてから、10年以上になる。父親の協力と理解を得ながら、やれることはやっと思いしている。又、地域との付き合いもなじめなくて心配ばかりだが、参加することが大事と思いい行事には出ています。

* 34歳の男性： テンションが上がったり下がったりしていたが統合失調症と8年前に診断され、今はデイハウスに通っている。ここでは任せられた役割を毎日果たしています。趣味のスポーツでストレスを発散し、地域では挨拶運動に精を出しています。家庭では、母の手助けをしたり、兄と妹がお正月に来て一緒に食事をしています。

講演

講演要旨 愛知県で2年前まで保健所で精神保健相談員を務めていた。家族の悩みを聞く内に、一人ひとりに対応した支援のやり方がないかと模索していたところ、「みんなねっと」の「英国メリデン版訪問家族支援プロジェクト協力委員」として、昨年英国での研修に参加することが出来た。現在、このプロジェクトの活動に参加しています。



メリデン版家族支援とは

1. ケアのため自分自身の生活を奪われてしまっている家族が、介護を続けながらも他の人たちと同じように当たり前の生活が出来るよう支援をする。
2. そのためにスタッフは本人と家族が病気や治療について話し合う習慣を作れるようにする。
3. そこでみんなの困りごとの解決のアイデアを出し合えるようにする。
4. 支援員は月2回1時間の家庭訪問を6か月は続ける。
5. 最終的には支援員がいなくても家族だけで話し合う中で、問題を解決できることを目指す。

【本人、家族、支援者の三者を組み合わせた支援で再発率が約50%から10%に低減した記録がある。】

日本での普及に向けて

1. この技法が有用と思われる機関（ACT,訪問看護など）で、まずは技術を普及し、支援者の意識の改革を目指す。
2. マニュアルやDVDの作成。
3. 1～2年後に日本で「メリデン版訪問家族支援」の研修を開始する予定である。
メリデン版訪問家族支援の目標 本人と家族それぞれのリカバリーで、どんな人も自分らしく生きていける社会を一緒に作っていくこと。

演 題

「イギリスから学ぶ家族支援」
〜日本でも本人と家族を共に
支援する訪問家族支援を〜

講師 精神保健福祉士・社会福祉士 大野 美子氏

次回の県大会の開催のお知らせ

時期：平成29年10月13日(金) 場所：東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホール
大会テーマ：未来のために今できること ～私達がやらなければならない事～
講師：聖十字病院 副院長氏
パネルディスカッション：
テーマ：『未来のために今できること』 ～私達がやらなければならない事～

(第7回 全国精神保健福祉家族大会) みんなねっと三重大会

平成28年10月27日、28日

三重県総合文化センターにて開催

「みんなねっと三重大会」に参加して

「津駅」前では、若いボランティアさんに、バスの案内してもらいました。ホテルの場所も教えてもらいました。(後で、市職員とわかりました。市はお金でなく職員の派遣で支援。)

1日目は、基調講演「誰でもわかる認知行動療法」、みんなねっと活動報告、記念講演「精神科アウトリーチ」。専門の先生で、わかりやすく話されました。

(落ち込みをコントロールする → やる気が起きるまで活動をしないのではなく、とりあえず動いてみて、元気が出てくるか考えます。考えを切り替える。)

懇親会は参加が多く、2会場になりました。楽しい催し物で、仲間の顔を少し覚えることができました。東海、山梨グループだったので、遠くの県のエネルギーも感じたかったです。

2日目は、分科会①「ひろげようアウトリーチ」②「元気な家族会に！！」③「安心してらせる社会を目指して」④「はじめよう！若者への啓発を」⑤「ピアカフェ」

盛りだくさんな大会でした。会場は清潔で、スケジュールは順調に進みました。シャトルバスも多く出ていて会場移動が楽でした。大会スタッフに感謝です。

服部信子 副理事長

参加者は1,250名と大盛会でした。岐阜県からは32名参加(非会員も含め)。今回は、全国大会と甲州・東海ブロック大会を併せ行われました。次年度のブロック大会は、山梨県担当で平成29年11月9日(木)・10日(金)に河口湖市での開催予定。また、みんなねっと大会は、10月19日(木)・20日(金)に岡山県で開催されます。

岐阜県精神保健福祉会連合会 第2回及び第3回理事会(報告)

県福祉農業会館にて実施

第2回

日時：平成28年12月19日(月)

報告事項や検討事項が多くありましたが、既に、「ぎふかれん情報」を毎月発行し、家族会会長に送付しています。報告については、重要なものだけに割愛させていただきます。

1) 報告事項及び検討事項

◎ 岐阜県障害者社会参加推進協議会(7月29日)

3障害合同部会で、国・県への要望事項を検討する。

- ① JR運賃などの交通運賃割引
- ② 精神障害者対象の相談員制度の設置
- ③ 障害者扶養制度の加入年金の上限の延長などを要望

(結果等は、ぎふかれん情報9月号に記載)

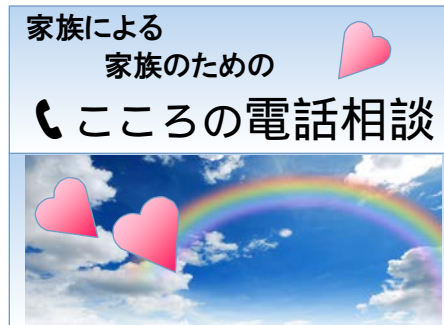
◎ 平成28年12月15日、名鉄本社へ、精神障害者の運賃割引の要請交渉を実施。

(みんなねっと副理事、愛知県連・岐阜県連により)

・岐阜県の第三セクターで長良川・明智鉄道は3障害とも半額、樽見・養老鉄道は精神障がい者のみが無し。また、濃飛バスの高山・岐阜間の高速路線は無し。今後の問題にしたい。

◎ 電話相談事業の実態

- 火曜日と木曜日 10:00～15:00に実施。
相談者の減少：チラシを作成し、宣伝方法を考える。
・相談対応者の十分な研修を行う。今年度2度の研修会などを行っている。
・対応マニュアルの作成をおこなう。第3回理事会で検討委員会を決める。



◎ 予算執行状況と今後

事務局員経費を無くし、ボランティアに徹した運営で何とか乗り切れそう。

◎ 全国大会 in 三重 (ぎふかれん情報12月の追加号に報告済み)

◎ 次年度県大会は、平成29年10月13日(金)中津川市での開催を予定。

◎ 甲州・東海ブロック大会の準備

- 平成29年度は山梨県河口湖市で開催予定。
30年度は岐阜県開催で、第1回幹事会で高山市開催を検討。理事会で了承。

◎ その他

- ・「ぎふかれん」のホームページの立ち上げ。
残りの課題は次回に検討することとした。

第3回

日時：平成29年1月18日(水)

ぎふかれんの運営体制の分担を明確化しました。また、回答・検討を要する書類など、相談できる機会をつくる為、毎週木曜日の午後を理事長・服部・久保田副理事長が集まる時間帯としました。

各種イベント対応

- ◎ 大会 各圏域(副理事長を中心に)及び、ぎふかれんでのイベント担当者等を明確化市町村への分担金要請の配分についても検討し、取り決めました。
その他、県大会の持ち方などいろいろ議論しました。
- ◎ ブロック体会(高山大会)は、ぎふかれん全体で対応する。出来れば、4月頃から実行委員会を立ち上げたい(検討する)。
- ◎ 「知ってもらいたいこころの病」は今回2月25日に高山市開催予定
29年度は、出来れば未実施市町村が望ましい。
- ◎ 電話相談事業
・マニュアル作成委員会、パンフレット作成担当を決めました。
- ◎ その他、いろいろな担当を決め、協力体制をはかりました。
- ◎ 「ぎふかれん」のホームページの立ち上げ
ホームページ担当委員、掲載記事の作成検討委員会、情報収集と実務担当者選定などを検討しました

「知ってもらいたい心の病」の開催 (案内)

日 時 2月25日(土) 13:30~16:00
場 所 高山市民会館 3階 (高山市昭和町1丁目188-1)
(Tel 0577 (33) 8333)

テーマ — 私たちも地域でくらしたい —

講 演 : 「統合失調症について」

講 師 : 近藤隆夫先生 (須田病院 精神科医師)

シンポジウム :

主 催 (NPO 法人岐阜県精神保健福祉会連合会)

後 援 (高山市、高山市社会福祉協議会)

精神障がい者家族の支援者養成研修会の実施 (報告)

、 社会資源の種類と利用について
【日 時】 平成28年12月24日(金) 10:00~15:30
平成29年 1月18日(水) 10:00~12:30

【場 所】 福祉農業会館

対 象: 相談電話に関わっている家族、又は今後その任に関わる予定の方

【内 容】

第1回「病気についての理解、社会資源の理解とその利用法」 参加者 26名

講 演 「精神疾患について」

講師: 医師 桜庭 先生 (岐阜県精神保健福祉センター)

数種の病気・その対策、薬について

講 演 「社会資源とその利用法について」

講師: 精神保健福祉士 (PSW) 内木様 (地域生活支援センター24の瞳)

(治療・訪問・暮らす・働く・通う・集まる・相談からのアプローチで
社会資源とその利用法の解説)。

説明「一般的な社会資源の利用法について」

講師: P S W 岩崎様 (就労支援作業所ふぁーすと)

看護師・保健師 永井様 (株式会社くらしケア)

第2回 電話相談の実際 参加者 23名。

講師: P S W 熊谷様・岩崎様 (就労支援作業所ふぁーすと)

実技を中心とした電話相談題について、2組に分かれのロールプレイ。

参加者からの相談についての検討会。

※「第1次とりまとめ」として、今年度中に電話対応マニュアルを作成、
修正加筆予定。

ぎふかれん理事長等出席の会議等

岐阜県精神保健福祉社会連合会役員として参画している

県・各種団体の委員会出席状況及び全国精神保健福祉社会連合会、
甲州・東海ブロック、ぎふかれん関連会議等

・岐阜県障害者スポーツ協会及び障害者3団体関連

6/5：障害者スポーツ大会春期大会などの障害者スポーツ関連のイベント参加は11回、いずれも身体、知的障害者は運動に関して活発であった。精神障害者スポーツへの参加者は殆ど無く、寂しい限りでした。

社会参加推進協議会・施策推進会議関係等

7/19：県障害者就労支援センター設立委員会・検討会、社会推進会議、国・県への要望とりまとめ、障害者差別解消対策会議等6回出席。

・精神保健福祉協会関係

6/14：総会・理事会 10/26：こころの健康フェスティバル

・みんなねっと・甲州東海ブロック関係

全国大会とその実行委員会（津市）、ブロック会議、みんなねっと会議など6回参加。

・ぎふかれん関係

幹事会1回、理事会3回、岐阜県大会 in 岐阜の実行委員会、in 中津川など行っている。

《 イベント表（案内） 》

月 日	場 所	イ ベ ント	主 催
2月6日(西濃) 15日(中濃) 20日(東濃) 22日(岐阜) 29日(飛騨)	西濃総庁 可茂総庁 東濃西部総庁 不二羽島文化センター 高山市民文化会館	身体・知的相談員研修会 講演：県の障がい者施策について ：災害から命を守る防災対策	岐阜県障害者社会 参加推進センター
2月25日(土)	高山市民文化 会館	「知ってもらいたいこころの病」	岐阜県精神保健福 祉社会連合会
10月13日(水)	中津川市	県大会 in 岐阜	岐阜県精神保健福 祉社会連合会
10月19～20日 (木・金)	岡山市	第10回 全国精神保健福祉家族大会 in 岡山	全国精神保健福 祉社会連合会・岡山県連
11月9～10日 (木・金)	山梨県河口湖市	甲州・東海ブロック大会 in 山梨	山梨県精神保健福 祉社会連合会

ぎふかれんホームページのご案内

ぎふかれんのホームページができています。
未完成な部分もありますので、みなさんに見
て頂いて、ご意見をお聞かせ下さい。

Facebook も始めています。

ホームページを開設することにより、会員の
皆様に対して迅速に情報を提供できるよう
になるとともに、新しい会員の獲得等に大いに
力を発揮するものと自負しております。

グーグル等の検索エンジンから

「ぎふかれん」と
入力して探してください



会員（家族会員）、賛助会員及び ボランティアの募集

各地区の家族会として、家族会員の募集を致しております。当岐阜県精神保
健福祉会連合会

では、各家族会を会員としたNPO法人として、家族会相互のネットワー
クづくり推進により、福祉関連事業を行ない、地域福祉の向上を目的とし
ています。本年度は、福祉関連講演会・勉強会、電話事業を実施し、機関
誌の発行を行っています。ぜひ、会員や賛助会員として、ご援助頂きたく
お願い致します。



【 編集後記 】

「ぎふかれん」誌を、ようやくお届けすることができました。
昨年より誌面の刷新を図り、読みやすいように心掛けて編集
を行いました。今後も努力して参りますので宜しくお願い致
します。 皆様の投稿をお待ちしています。

— 編集担当者一同 —